

タイトル

インターネット生放送に視点を置いたユーザの内観分析

Analysing Psychological Factors of Users' Behaviors in Internet Live-Video Broadcasting Services

概要

インターネット生放送における多様なユーザ行動を分析する。従来より頻繁に利用される利用ログのデータマイニングのみでユーザの行動の外観をある程度把握することは可能であるがその意図や意識（内観）を分析することは困難である。そこで本研究では内観を分析するために、定量的・定性的、両方の側面からユーザの内観を分析する。そのための具体的な分析手法として、フィールド情報学的手法であるアンケート調査、観察・インタビューを適用する。



図1. インターネット上のユーザ行動とその心理の分析

URL

なし

産業界への展開例・適用分野

インターネット生放送という今後の社会における知識共有、情報共有の核となる基盤になりうるサービスにおけるユーザ個々の行動意図や心理から抽出した特性は、今後のインターネット生放送の成長に伴い発生する問題の予測などに役立てることができ、インターネット生放送の発達に貢献できると考えられる。また、同様の分析手法はインターネット生放送サービスだけでなく現存する他のインターネットサービスへの応用や今後登場する新たなサービスへの応用が可能であると考えられる。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職（学年）
展示担当者	津田 侑	社会情報学	喜多研究室	博士1年